

大磯町吹奏楽部第32回 ファミリーコンサート

6月19日(日)、二宮生涯学習センターラディアンで大磯吹奏楽部のファミリーコンサートがありました。そして、ゲストは国府小学校金管クラブと国府中学校吹奏楽部でした。

第1部では大磯吹奏楽部が『PACIFICA』などの3曲を演奏しました。曲名だけではピンとこなかったのですが、演奏が始まるとなんとなく聴いたことのある曲があったので楽しく聴くことができました。

第2部では、吹奏楽部が『マーチ「マーブルスカイ」』と『写楽』を、金管クラブは『インヴェクタ序曲』と『アメリカの歌メドレー』を演奏しました。『写楽』は高橋伸哉さんが歌舞伎をもとに作った曲です。この曲はすごく難しく、私はまだ完璧には吹けません。先輩のように上手に吹けるようになりたいので、これからもがんばって練習していきたいです。
私は、大磯



吹奏楽団のみなさんのすてきな音と曲を聴くことができました。良かったと思っと思っています。今回聴いたことを練習に活かして、大磯吹奏楽団のみなさんのような聴いている人を楽しませる演奏をしたいです。
(高橋 愛美)

八坂神社祭典

私は7月2日と3日に中丸地区で行われた八坂神社の祭典に参加し、花車に乗って、大太鼓と小太鼓をたたきました。中丸会館ではつびを着て花車を待ちました。小学生の時も着ていたはつびですが、サイズが大きくなり、一年ぶりに着てみると少しなつかしい感じがしました。

さっそく花車に乗って役員の方や小学校5、6年の子どもに応援され、期待をされながら出発すると、「ついに始まったぞ!! 大太鼓をたくさんたたこう!!」という思いが頭の中でたくさん浮かびました。友達がたくさん喜びました。の順番になり、私は、「あれ、本番でたたく時って、こんなにきん張するものだったか。」と思うくらい、きん張しました。たたいている間には、花

車を見ようとお年寄りや沢山の家族が大勢外に出てきてくれました。「皆さん、見に来てくれてありがとう。」と心の中で何度も思いました。でも、去年より少しだけ家の外に出て見に来てくれる人の数が少なくなっているな。」と感じ、さびしく思いました。

太鼓をたたく時間が終わり、花車が中丸会館に着くと、役員の方や町内会の方が「おつかれ様!!」と出むかえてくれました。外でラムネをもらい、友達といっしょに家へ帰りました。

去年と比べて、太鼓をたたく人の数は増えたけれど、花車を見に来てくれる人の数が減ってしまったので、花車を見に来てくれる人の数をもっと増やしたいなと思いました。来年も部活の時間と重ならないで祭典に参加できたら、また太鼓をたたきたいと思いました。中丸の伝統行事をこれからも

からも長く受け継いでいけたら良いなと思います。



▲神輿を担ぎ歩く様子

こんにちはは保健師です

持っていますか?

「おくすり手帳」

「災害時に困らないために」

薬局や病院でもらえる「おくすり手帳」。あなたは持っていますか。

「おくすり手帳」は大切なあなただけの記録です。副作用予防や薬の飲み合わせのチェックのほか、今回の東日本大震災ではとても役に立ちました。

東日本大震災では…

被災した地域では多くの家屋とともに「毎日の薬」も流されてしまいました。避難所に医療チームが到着しても、多くの人に「いつもの薬」を渡すことができなかったそうです。

それはなぜでしょうか。「いつもの病院」でもらう「いつもの薬」。それだけでは、薬の種類も量もまったくわかりません。

いざというときのために、薬の情報(名前、用量、用法など)が分かるようにしておくことが大切です。

「おくすり手帳」を

持ち歩きましょう!

しかし、薬の名前や用量など

を覚えておくのは難しいです。

薬の情報は、「おくすり手帳」のほかにも、処方シール、薬材情報提供書などもあります。財布やバッグなどに入れて持ち歩くだけでなく、携帯電話にデータを保存したり、家族や知り合いに薬の情報を預けるのも一つの方法です。

避難所で役立つ意外なもの

避難所に着の身着のまま避難した方が、偶然持っていたものが薬が判明したこともありました。

それは、前日に飲み終えた「薬のカラ(包み)」でした。そこには薬の名前と量が示されています。たのすぐにもらえたのです。

何種類も薬を飲んでいる方へ

血圧、血糖それに心臓、痛み止めや胃薬。必要なときだけ飲めばいいものや命に係わる大事な薬もあります。

どの薬が大事で、なぜ飲んでいるのかなど、日ごろから病院任せにせず、主治医や薬剤師に確認しておきましょう。

市野

スポーツ健康課